

第3期行財政改革プログラム 個別取組工程表

| 取組番号 | 2-3-2 | 取組項目名 | 内部管理マネジメントの推進 | | | |
|----------------|---------------|---|--|---|--------|-------|
| 所管 | 上下水道 | 局 | サービス推進 | 部 | 事業サポート | 課 |
| 〔P〕 取組内容 | 実施内容 | 上下水道局独自の取組として、内部管理マネジメントを運用することで、組織が有する業務リスクを日常から把握します。そのリスクを局内で共有し、局全体としてリスクへの対応力と業務の有効性・効率性・経済性を向上させます。 | | | | |
| | 目標 | H30 | 「局内内部管理マネジメントに関する基本方針」に従い、リスクを解消する取組を実施する。また、取組後の評価を次年度の取組に反映する。 | | | |
| | | R1 | 「局内内部管理マネジメントに関する基本方針」に従い、リスクを解消する取組を実施する。また、取組後の評価を次年度の取組に反映する。 | | | |
| | | R2 | 「局内内部管理マネジメントに関する基本方針」に従い、リスクを解消する取組を実施する。また、取組後の評価を次年度の取組に反映する。 | | | |
| 〔D〕 実績・進捗状況 | H30 | 「局内内部管理マネジメント」の取組として、各課において、昨年度の取組結果を踏まえつつ、引き続き、業務リスクの洗い出しを行い、当該リスクの解消に向けた取組を実施した。実施結果について、年度末に自己評価を行い、実施項目のうち各部の重点項目については、経営幹部や外部有識者が出席する場で意見交換を実施した。また、庁内HP、局広報誌を通じて、各職員にも取組結果を情報を共有し、局全体としてのリスクへの対応力と業務の有効性、効率性、経済性の向上につなげた。 | | | | |
| | | H30の達成度 | b | 〔基準〕 a: 上回って(前倒しで)達成 b: 達成 c: 概ね達成 d: 未達成 | | |
| | R1 | 令和元年度は、各業務におけるマニュアルの整備状況を確認した。不備がある場合は是正を促すことにより、内部統制の推進に向けた取組を実施した。また、法改正により市長部局で本格実施される内部統制の取組を踏まえた「堺市上下水道局内部統制に関する方針」を策定した。 | | | | |
| | | R1の達成度 | b | 〔基準〕 a: 上回って(前倒しで)達成 b: 達成 c: 概ね達成 d: 未達成 | | |
| | | H30～R1の達成度 | b | 〔基準〕 a: 上回って(前倒しで)達成 b: 達成 c: 概ね達成 d: 未達成 | | |
| | R2 | 市長部局の取組を踏まえつつ、局の独自の取組として、 ①昨年度に引き続き、マニュアル等の整備状況を確認した。 ②市全体として設定された重点項目に加え、局独自の重点項目として、「個人情報の漏えい、紛失」を設定し、リスク管理の取組を実施した。 | | | | |
| | | R2の達成度 | b | 〔基準〕 a: 上回って(前倒しで)達成 b: 達成 c: 概ね達成 d: 未達成 | | |
| | | H30～R2の達成度 | b | 〔基準〕 a: 上回って(前倒しで)達成 b: 達成 c: 概ね達成 d: 未達成 | | |
| | 行革効果額の見込み及び実績 | | | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| | | 見込み | | - 百万円 | - 百万円 | - 百万円 |
| 実績 | | | - 百万円 | - 百万円 | - 百万円 | |
| 評価 | B | 〔基準〕 S: 優良 A: 良好 B: 普通 C: 不良 | | | | |
| 〔C〕 評価 | 課題分析 | 市長事務部局では、内部統制の取組が法的義務となったことを受け、局では、市長事務部局の取組を踏まえつつ、取組内容を検討する必要がある。 | | | | |
| 〔A〕 改善策 | 改善策 | 市長事務部局における内部統制制度を踏まえつつ、局の取組内容を適宜見直した上で実施した。今後も市長事務部局の取組状況等を踏まえつつ、適宜見直しを行っていく必要がある。 | | | | |
| 備考 | | | | | | |